

平成28年度 第1回 指宿市共生ビジョン懇談会 (形成方針(案)に関する主な意見概要)

日 時 平成28年7月15日(金)
15時00分～17時15分
場 所 大会議室A

1. 形成方針(案)について協議

① 医療について

- a. 現状と課題(プレゼンター:指宿医師会会長)※プレゼン資料による
- b. 形成方針(案)について

	主な意見	それに対する意見・回答・対応など
1.	<p>各地域の機能分担に掲げる、「地域医療水準の向上と保健・福祉・医療・介護の連携による地域包括ケアシステムの構築」という部分と、必要な病床数などの整合性は図れるのか。</p>	<p>(指宿医師会会長)</p> <p>地域包括ケアシステムと地域医療構想という病床数削減については、国の施策において、車の両輪である。地域医療構想の病床数削減のもともとの発想は、病床の無駄を無くして効率化を図りながら適正な医療サービスを提供していこうとするものである。</p> <p>それを推計統計上で見ると、病床数の削減数案がはじき出されており、その数値については、現在、医師会としても尊重しながら吟味しているところである。それについては、決定した数値ではない。</p> <p>病床数を減らす一方で、地域包括ケアシステムの中でケアしていこうとするのが国の施策である。</p> <p>(指宿医療センター所長)</p> <p>病床数を減らして地域包括ケアシステムにシフトしようという話だが、地域包括ケアシステムを充実したらうまくいくのかということについては、数としては、今の医療機関でも十分に足りるので、その機能をきちっと持たせるとともに、ネットワーク・つながりをきちんとしてきけば、できると思う。</p>

2.	<p>形成方針（案）としては理解したが、具体的にどのようなことが必要になってくるのか。</p>	<p>(指宿医療センター所長)</p> <p>具体性はこれから議論していかないとはいけないが、形成方針（案）としてはこれで間違っていないと思う。</p> <p>コンパクトにして、質を高めることは重要であると考えている。</p> <p>地域において、医療施設の撤退・縮小を考えているのは、ここ10年間で2割と言われている。</p> <p>機能分担については、医療側からの考えであり、本来であれば、患者の立場からすれば、1箇所でも急性期から慢性期まで対応できれば一番良い。しかし、残念ながら、医療内容・システム、病院も、急性をすところ、回復するところ、包括ケアをすところといった機能分担していかないと難しく、患者側に動いてもらわざるを得ないのが現状である。</p>
----	---	--

② 地域公共交通について

- a. 現状と課題（プレゼンター：商工水産課長）※プレゼン資料による
- b. 形成方針（案）について

	主な意見	それに対する意見・回答・対応など
1.	<p>市内循環バス（イッシーバス）に乗って見て、利用推進策の1つとして、現在、定額200円だが、距離による変動料金制もあるかなと感じた。</p>	<p>(形成方針（案）における、「新たな公共交通体系の構築」に対する意見として承り、今後、共生ビジョンを議論していく中で参考としていく。)</p>
2.	<p>希望としては、週3日（月・水・金又は火・木・土）ではなく、毎日入ってもらいたいと思うし、距離・時間が短いほうが良いと思う。</p>	<p>(形成方針（案）における、「新たな公共交通体系の構築」に対する意見として承り、今後、共生ビジョンを議論していく中で参考としていく。)</p>
3.	<p>上野地区については、市内循環バスが始まった時には、尾下から上野を通過して利永へという便だった。自分も気にかけて見ていたが、ほとんど利用者がなく、結果、今の路線になった経緯がある。病院に行くにも、近所の人に乘せてもらったり、病院の送迎車を利用したりしているようだ。</p> <p>現在のところ、他の地区を含めて、利</p>	<p>(特になし)</p>

	<p>利用者からの改善を求める声などは聞いていない。今後も、利便性について、利用者等からの意見がないかについては気にかけていきたいと思っている。</p>	
4.	<p>デマンド交通については、バスとタクシーの中間にあるもので、やり方については色々あるようだが、通常タクシーで乗ってもらっていたお客さんがデマンドに乗り換えることもあるので、必ずしもタクシーにとってメリットだけではない。</p> <p>事例からすると、デマンド交通にすると、循環バスに対して利用者は増えるが、経費はかかるようだ。</p>	<p>(形成方針(案)における、「新たな公共交通体系の構築」に対する意見として承り、今後、共生ビジョンを議論していく中で参考としていく。)</p>
5.	<p>観光客の2次交通については、鹿児島交通さんが路線バスを活用した「のったりおりたりプラン」をしている。タクシー協会でも2時間で5,000円という「観タクン」でできるだけ安い設定でやっているが、指宿の身近なところを回る利用はないのが現状。今後、観光地である指宿においては、海岸が整備をされたりして、市街地の中で回遊をするまちになっていかないとはいえないと思っている。</p> <p>そうなった時に、市内循環バス(イッシーバス)はそもそも市民向けの交通システムだが、観光地の特色として、観光客も利用できるようなしくみとPRをうまくしていったらどうかと考える。</p>	<p>形成方針(案)の「取り組み内容」及び「機能分担」の全地域について、市内循環バスと「観光利用等との効果的な連携のあり方等を調査・検討しながら」、新たな公共交通体系の構築を目指すことを追加することとした。</p>
6.	<p>交通全般の今後のあり方について議論する、交通関係機関、行政、利用者を含めた協議会が必要だと思う。</p>	<p>現在、交通全般に関する協議会はないが、今後、形成方針(案)に基づき共生ビジョンを策定し、それらに基づく事業展開の中で、協議会の設置含めて検討していきたい。</p>
7.	<p>高齢者にも分かりやすい、市内循環バス(イッシーバス)の路線図や時刻表の改訂の予定はないか。</p>	<p>形成方針(案)の「取り組み内容」及び「機能分担」の全地域について、「市民に分かりやすい路線図及び時刻表の工夫並びに周知のあり方」についても調査・検討しながら、新たな公</p>

		公共交通体系の構築を目指すことを追加することとした。
--	--	----------------------------

③ 圏域マネジメント能力強化について

- a. 形成方針（案）について
特に修正意見なし